

会 議 記 録 簿

記 録	職・氏名 社会教育課(施策担当) 主事 飛弾野 冬華		
件 名	令和6年度第1回恵庭市社会教育委員の会議		
日 時	令和6年5月31日(金) 16:00～17:00	会 場	市民会館(大会議室)
出席者	恵庭市社会教育委員 松田、井上、高橋、平井、八木橋、中山、茶園、根深、安中 市教委 狩野部長 (社会教育課)黒氏課長、津田主査、佐々木主査、田中主事、飛弾野	人 数	委員 9名 市教委 6名

1. 開会

2. 挨拶

恵庭市教育委員会 教育部長 狩野 洋一

3. 正副委員長選出

A委員

新任の委員が多いことから経験豊かな委員にお願いしたいと考えている。委員長に松田委員、副委員長に井上委員を推薦したい

全委員

異議なし→拍手により承認

4. 委員長及び副委員長挨拶

5. 社会教育委員について

6. 【議題】※詳細については別紙のとおり

(1) 報告事項① 令和5年度「社会教育事業報告」について

社会教育課

(報告)

B委員

社会教育事業報告の内容について、委員とも議論したいと考えている。

これまで社会教育事業報告については、事業内容、参加者の増減、予算的なものの報告が中心となっていたが、内容について深堀して、成果として良好な点、改善すべき点について考えたいと思っている。第2回の社会教育委員の会議では上半期の事業について報告されると思うので、そこで今の意見を反映させてもらえたら。

C委員

事業報告について、それぞれ対応や傾向がわかるようになっているといいのでは。あるいは、重点事業のみ説明を詳細にするとか。

他自治体では事業報告を、2ページくらいの写真付きで概要をまとめているため、論点がはっきりし、意見も出てきやすい。

委員自身の専門分野から見た意見交換により、交流しながら社会教育を把握していくことも大切ではないかと思う。

報告事項② 令和5年度「社会教育施設利用状況報告」について

社会教育課

(報告)

C委員

コロナ前と比べると施設利用人数が減少している施設が見受けられる。今後は、人をどう集めていくかが課題となると思うが、どう考えているか。

社会教育課

コロナ以前とコロナ後で活動の仕方が変わってきているのも要因の一つ。オンラインでの活動が増えたり、活動回数を減らしたりしている団体もある。また、活動団体が高齢化しており、辞めてしまう方も増えている一方で、新しい若い世代は増えていないような課題もある。

他には、えにあすや黄金ふれあいセンターも設置され、利用者が流れているが、それぞれの施設の利用状況は今回の報告には含まれていないことも一因だとおもう。

C委員

オンラインで活動しているならそれもいいと思うが、活動や数値など、どこを想定して拾っていくか、計画等にも関わってくる可能性があると思う。

報告事項③ 令和6年度「恵庭市の社会教育」について

社会教育課

(報告)

(2) 協議事項① 社会教育関係機関への委員選出について

社会教育課

(説明)

全委員

(異議なし→原案のとおり決定)

7. その他

社会教育課

(事務連絡)

8. 閉会